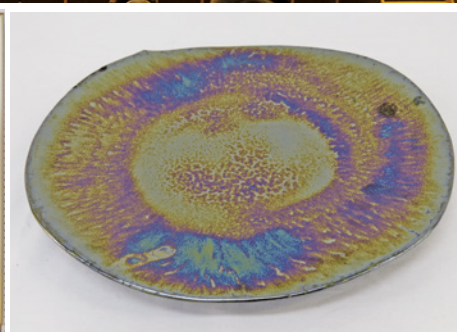
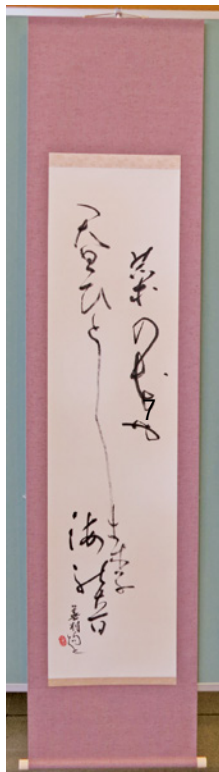


海からの風 山からの風



尾道市文化協会は昭和56(1981)年、市内の文化団体を結集して設立されました。平成17(2005)年には御調町文化協会及び向島町文化協会と、翌年の平成18(2006)年には因島文化協会及び瀬戸田町文化団体協議会と合併し、多くの方々に支えられながら、今日に至っています。

展示や舞台、秋のお茶会など、それぞれ専門分野の実行委員会で事業を実施するとともに、課題については企画委員会や理事会において、連携しながら取り組みを続けています。

令和7年度は、尾道市合併20周年を迎えます。市の20周年記念行事とも協力し合いながら、文化協会事業を更に充実させていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後も、地域文化の発展と伝統の継承を担う会員の皆様の活動を支援するとともに、尾道市文化協会の更なる発展を目指し、共に歩んでいきたいと考えております。



令和6年度 各部会での活動

11月9日(土)、10日(日)

尾道市民音楽芸能祭2024(音楽芸能部)

11月9日(土)、10日(日)の2日間、しまなみ交流館で『尾道市民音楽芸能祭2024』が開催されました。

9日は吹奏楽や合唱といった音楽系、10日はバレエや舞踊など芸能系の舞台発表に分かれ、市内で活動する文化芸術団体が一堂に会し、華やかな舞台や演奏を繰り広げました。

来場者からは「生の音楽にふれられてよかった

です。人間ってすごい楽器なんだと思いました。」
 「内容の豊富さに大満足です。」「尾道ではこんなにもたくさんの音楽や芸能に関する団体が存在すること、また披露できる場があること、とても素晴らしいことだと思います。」「皆さんの練習された成果がうかがわれ、一生懸命さに感動しました。」などの声が聞かれました。

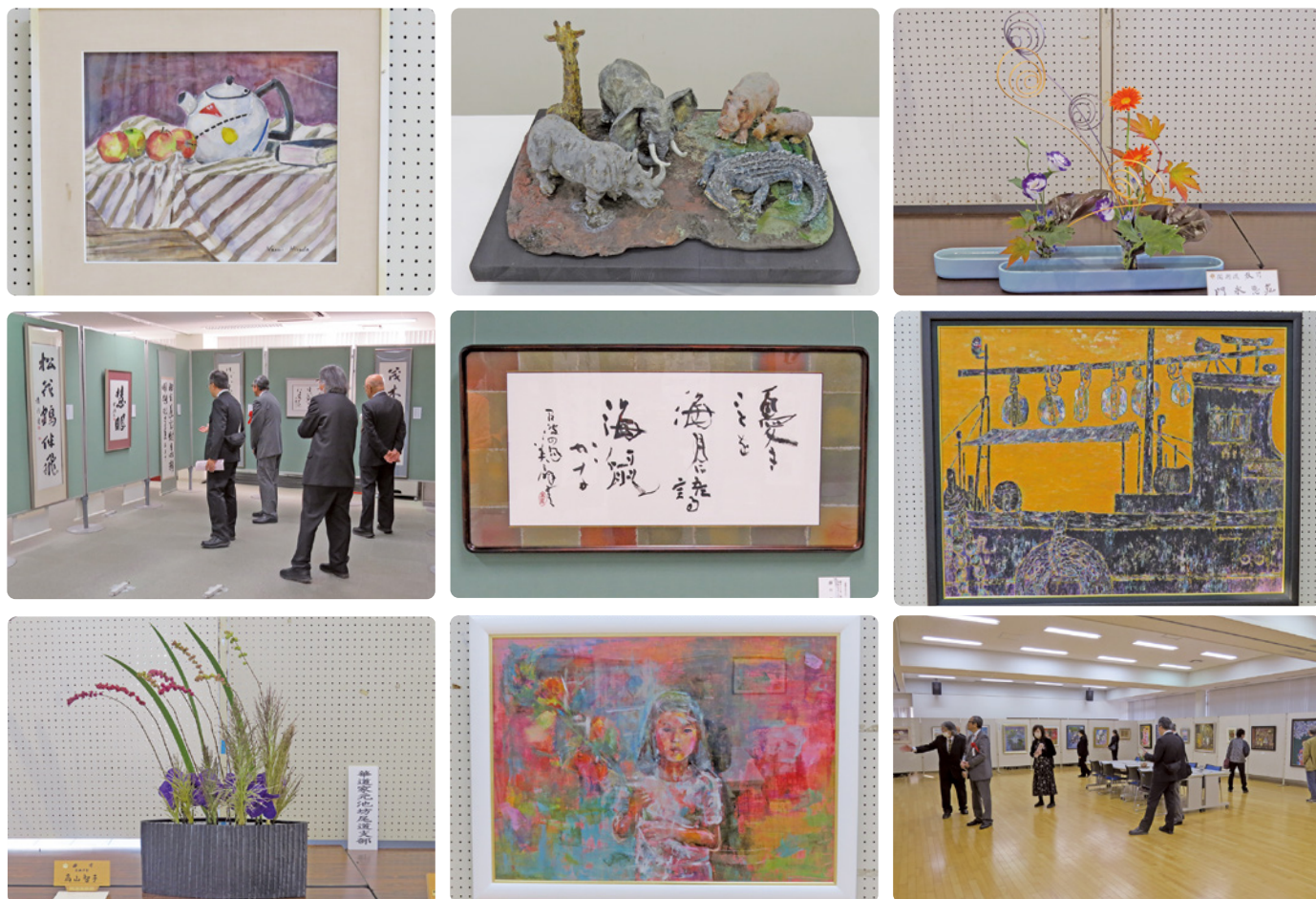
出演団体(プログラム掲載順)

【11/9】

宮城会 角田社中／(社)日本尺八連盟尾道聖琳会／ちくし浮城会／アンサンブル・カーノ／あんだんて／尾道フラウエンコール／尾道男声合唱団コールクレイン／尾道女声合唱団まどか／尾道ア・カペラーズ／尾道市吹奏楽団

【11/10】

尾道シティバレエ／バレエスタジオ アジュレ／撫子会／匠の会／尾道吟剣詩舞道連盟／藤姿会・藤間紫壽衛社中／アロハ ローゼ ハウオリ／ふじもん会／有道郷土芸能保存会子ども龍王太鼓／サンサン倶楽部／綾目創作沖縄エイサー教室／舞憂会／鉄心流剣詩舞道



11月13日(水)～17日(日)

尾道の美展2024(美術部、華道部)

『尾道の美展2024』は、美術部と華道部の協力により、11月13日(水)から17日(日)までの5日間、尾道市民センターむかいしまにおいて作品の展示を行いました。

1階ロビー会場では華道と写真と書を、2階の研修室では彫刻、陶芸、絵画、書といった様々なジャンルから多くの作品が展示されました。

観覧されたお客様からは、「1つ1つの作品がきれいで、とても素敵でした。」「どの作品も心を打つよう

で皆様の一生懸命さが伝わりました。」「子どもと一緒にだと美術館等へは行きにくいので、良い機会がありうれしいです。子どもも自分なりに好きな作品を見つけて楽しんでいました。」と好評でした。

今後も会員の皆様の文化・芸術活動を発表し高める場として、更なる発展と継続を目指します。

なお、出品数は170点(前年比-5点)、5日間の来場者数は1,013人(前年比+84人)となりました。

出展団体(目録掲載順) ※個人名は個人会員

【美術部】

- (写真)全日本写真連盟尾道支部尾道写真クラブ/向島写真クラブ/尾道写真研究所
- (彫刻・陶芸)尾道陶芸作家協会/因島吉田彫刻・陶芸/岡 孝博
- (日本画)尾道日本画協会
- (洋画・デザイン)尾道美術協会/因島美術/向島絵画部/御調洋画教室
- (書)柏樹会/桂交会/蒼風会/墨藤会/杉友会/韜交会

【華道部】

- 華道家元池坊尾道支部/華道家元池坊尾道山陽支部/小原流/華道閑淵流尾道支部/華道専正池坊



11月10日(日)

尾道小径散策 秋の茶会2024(茶道部)

11月10日(日)に『尾道小径(こみち)散策秋の茶会2024』が開催されました。このイベントは文化協会加盟の茶道部4流派の協力のもと、尾道の由緒あるお寺等を散策しながら、ゆっくりと一服していただくことが目的の恒例行事です。

浄土寺に2席、西國寺に1席、また今年は初めての試みとして、旧三井住友銀行尾道支店を改装した文化施設「まちなか文化交流館(Bank)」に1席茶席を設けました。

参加者の中には、尾道や近隣市町にお住まいの方だけではなく、尾道に観光で訪れたなかで偶然

イベントを知り、興味を持ったという方もいらっしゃいました。

どの団体も本格的なお茶席でありながら、気軽に参加していただけるよう工夫を凝らしており、今までお茶席に参加したことがない人や、小さなお子さまにもお茶を楽しんでいただきました。

なお、今年の来場者は662人(前回比+62人)でした。

実施会場

- ◆浄土寺(梅の間):(特非)茶の湯歳時記同好会
- ◆浄土寺(方丈):茶道速水流滌源会尾道支部
- ◆西國寺(無塵楼):表千家同門会備後支部(尾道)
- ◆まちなか文化交流館(Bank):(一社)茶道裏千家淡交会尾道支部





尾道文化第43号 作者一覧(掲載順)

【会員外寄稿】 田村 禎英／井場 淳一郎／吉田 さちえ／小林 敦子／有木 きょう子

【会員】 (評論) 林 良司／小川 都弘

(随想) 村上 朝江／藤堂 憲一郎／宮奥 正道／用松 昌晃／住貞 義量

(現代詩) 長光 祐三／山口 美沙子(短歌) 御調短歌教室／仲尾 修／杉野 武司

(俳句) しまなみ俳句会／銀漢俳句会／俳句であそぼ575じゃこむすびの会

(小説) 清水 英子／今井 豊／中村 英子

3月25日(火)発行

文芸誌『尾道文化』第43号(文化・文芸部)

文芸誌『尾道文化』第43号を発行いたします。

会員の寄稿では、尾道ゆかりの文化人に迫る評論や身近な生活のなかの感動が書かれたエッセイ、様々な想いが託された詩や短歌、俳句、歴史小説からSF小説など、幅広い作品が掲載されています。

会員外からの寄稿では、尾道のファッション文化に着目したエッセイや、主人公の心の機微を巧みに描いた小説、令和4年に逝去された光原百合さんを偲ぶエッセイの後編といった作品が投稿さ

れています。

表紙は前号に引き続き、尾道市立大学を卒業したグラフィックデザイナーの青井典子さんによるものです。今年で設置130周年を迎え、また国の重要文化財に新指定となった因島大浜町の「大浜埼灯台」をモチーフに、猫たちがのんびりとくつろいでいる秋の情景を描いていただきました。

市内の書店や文化協会事務局で販売していますので、是非お手に取ってご覧ください。

『尾道文化』第43号販売情報

販売金額 1,000円(A5判 176頁)

取り扱い店舗：尾道市文化協会事務局(尾道市役所文化振興課)／啓文社／友文館(瀬戸田町中野)／なかた美術館／シネマ尾道／みつぎ道の駅／本因坊秀策囲碁記念館

けんみん文化祭 けんみん文化祭ひろしま'24

「けんみん文化祭ひろしま分野別フェスティバル」は、県内8地区から推薦された団体が出場し、9月から11月にかけて、県内各地で開催されました。

10月6日(日) けんみん文化祭ひろしま'24洋舞フェスティバル

尾道市では、しまなみ交流館で10月6日(日)に「洋舞フェスティバル」が開催され、県内から10団体が参加しました。尾道市文化協会からは、エキシビジョン出演としてBallet Studio Angeletの皆さんが参加しました。

その他の会場では、庄原市の庄原市民会館で行われた「ミュージックフェスティバル」に尾道フラウエンコール(合唱)の皆さんが出場し、特別賞を受賞しました。

第35回尾三地区フェスティバル

「第35回尾三地区フェスティバル」は、以下の3会場で開催されました。

開催日	会場	開催分野
2月16日(日)	しまなみ交流館(尾道市)	合唱、洋楽
2月23日(日)	せらにしタウンセンター(世羅町)	芸能、洋舞、和太鼓
3月2日(日)	大崎上島文化センター(大崎上島町)	邦楽、日本舞踊、新舞踊、民謡民舞

尾道市からは、合唱5、洋楽1、芸能2、日本舞踊1、新舞踊1、洋舞1団体が参加し、他地域の団体との交流を図りました。

審査の結果、尾道女声合唱団まどか&アンサンブル・カーノ(合唱)、舞憂会(芸能)、若智会(日本舞踊)、撫子会(新舞踊)が優秀団体に選出されました。



10月20日(日)

第23回高校生おのみち演劇祭

しまなみ交流館で「第23回高校生おのみち演劇祭」を開催しました。この演劇祭は広島県高等学校総合演劇大会尾三地区予選を兼ねた大会で、参加6校(尾道北高校、三原高校全日制、尾道商業高校、三原高校定時制、三原東高校、尾道高校)による熱演が繰り広げられました。

最優秀賞は尾道高校の「トロンブイユ」、優秀賞は三原東高校の「天才の国」、創作脚本賞は尾道商業高校の「おん返し」が獲得しました。

2校は11月16日・17日にマエダハウジング安佐南区民文化センターで開催された「第64回広島県高等学校総合演劇大会」に出場、尾道高校が金賞(第1位)の成績を収めました。尾道高校は続く中国ブロック大会「第62回中国地区高等学校演劇発表会」でも優良賞を受賞しています。

また尾道高校は、令和7年3月に神辺文化会館で行われる全国大会「第19回春季全国高等学校演劇研究大会」へ、開催県枠として出場します。



尾道高校「トロンブイユ」



三原東高校「天才の国」

会員活動紹介

尾道女声合唱団まどか

「ステージを終えて！」



昨年10月岐阜県で行われた国民文化祭に出演。
今年3月には、しまなみ交流館にて演奏会開催の
為、練習に励んでおります。

コールいんのしま

「2025年の初練習」



私達は、週一回火曜日に土生公民館にて練習
を渡辺郁子^{ふみこ}先生の指導のもと楽しく練習して
います。発表は年に三回ぐらい音楽祭等に出演
しています。

しまなみSCコーラス

「NPO 法人 しまなみスポーツクラブ総会の参加
尾道市三庄町民文化祭の参加
(曲名 よさこい節 金毘羅船々 AOKAGE)」



歌を通して、心と体を元気にすることをモッ
トーに楽しく練習しています。'24年には、ボル
ノグラフィティの曲にも挑戦しました。

アロハ ローゼ ハウオリ

「尾道市民音楽芸能祭 2024」



ハワイの伝統的な踊りで、自然の神々やハワイ
王族を賛美・称賛し、祈りを捧げる神聖な踊り、
古典フラ(カヒコ)に挑戦しました。

サンサン倶楽部

「極楽浄土」



写真は10月26日(土)に健康福祉展で御調病院
の駐車場で踊ったものです。
ダンスの楽しさに出会って30年、イメージ通り
には出来ませんが、今も楽しく踊りを頑張っ
ております。

コールベルカント

「瀬戸田町民文化祭出演 ベルカントホール前にて」



私たちクラブは結成50有余年になります。現在
は生涯学習として地域の文化祭等に出演しなが
ら楽しく歌っています。

会員活動紹介

バレエ スタジオアジュレ

「エキシビジョン出演」



2024年10月、「けんみん文化祭 洋舞フェスティバル」のエキシビジョン出演させていただきました。

尾道聖琳会

「令和6年定期演奏会（向島ココロ）」



尾道聖琳会の会員は現在23名で、会員全員による本曲（尺八だけの演奏）や、尾道の箏の社中の方との合奏などを中心に活動しています。

尾道フラウエンコール

「尾道市民音楽芸能祭に出場」



歌いながら動きをつけたり、初めて楽器もとり入れたりして、思いっきりステージを楽しみました。

尾道市民合唱団

「第42回定期演奏会」



指揮者で団長の景山勝博先生が5月に亡くなられ、「追悼演奏会」となりました。大勢のお客様と先生への想いを共有することが出来ました。

アンサンブル・カーノ

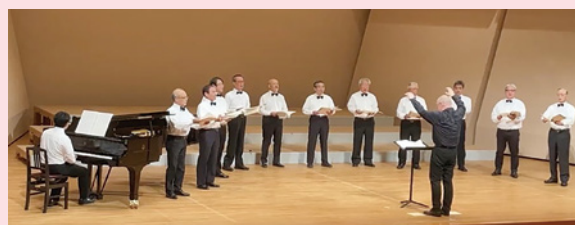
「国民文化祭（石川県）に出場しました」



メンバーは10代～70代。3月の尾道女声合唱団まどかさんとのジョイントコンサートにむけて練習に励んでいます。

尾道男声合唱団コールクレイン

「尾道市民音楽芸能祭に出演して」



私達「尾道男声合唱団コールクレイン」は、2002年に出来た合唱団です。亡き景山先生のご発案で、尾道市民合唱団を親団体として男声合唱団がスタートしました。今回 指揮者として大村先生を迎え、その初舞台となりました。気持ちも新たに、再出発です。

会員作品紹介



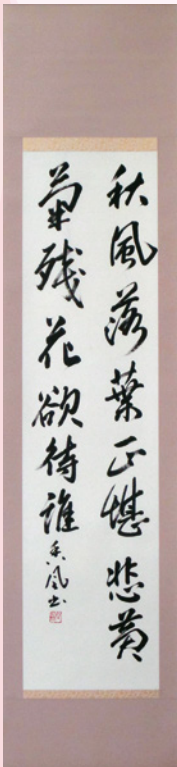
①



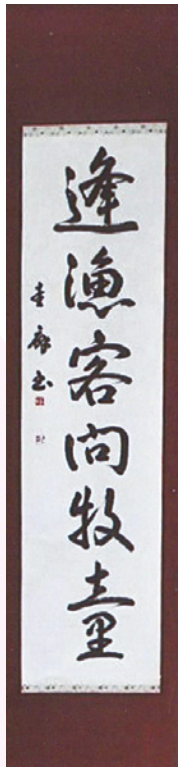
②



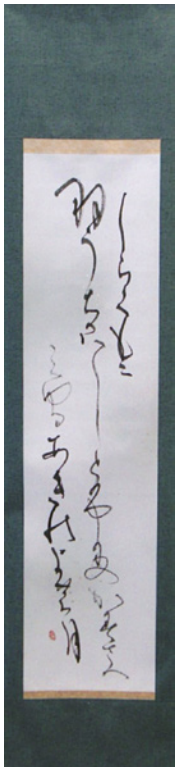
③



④



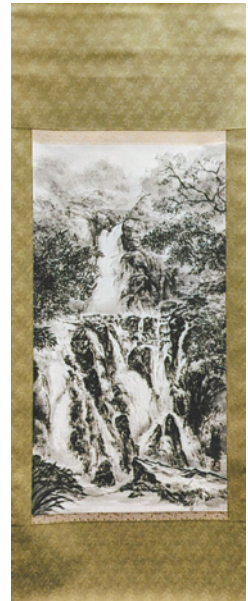
⑤



⑥

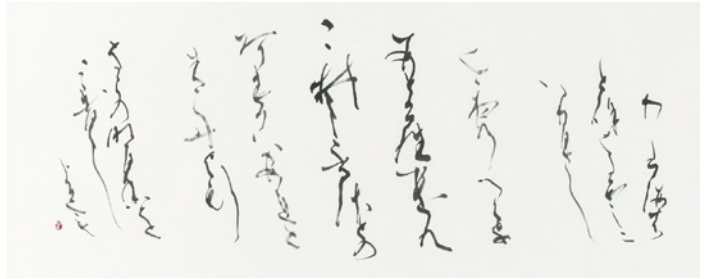


⑦



⑧

⑨



題名／作者／ひとこと

- ①「秋の色合い」(生け花)／尾道各流華道協会 小林明
人里離れた山奥に流れるような午後の日差し。その木漏れ日に浮かび上がる秋の色あい。
- ②「秋から冬へ」(生け花)／
華道家元池坊尾道支部 小田原和貴子
秋から冬へと移ろいゆく山の姿が、厳しい世相の流れを想わせる。その中で人々の心をなごませる愛の心をレリアで表現。
- ③「初春」(生け花)／小原流 桑田宏泉
万年青を使ったお正月の生花です。小原流の伝統的な琳派調いけばなで、初春をイメージしました。
- ④「黄菊」(書)／桂交会 福本香風
王羲之の古典をベースにあまり力まずに素直に書いて余白の白を美しく表現できたことが良かったところです。

- ⑤「漁客に逢い牧童に問う」(書)／柏樹会 河野圭扇
情景を思い浮かべながら書きました。
- ⑥「秋月夜」(書)／杉友会 児玉祐子
古今和歌集の秋の歌を古筆一条を基調に、かな書の行の流れや墨色の变化などで表現できればと思い書きました。
- ⑦「鄧文原の詩」(書)／墨藤会 塚本恵子
「楷書」が完成する前の書体「隸書」です。文字を扁平にして大きさを揃えて並べ、余白美しく書きました。
- ⑧「彭祖の滝」(水墨画)／水墨画瀬戸田教室 峰幸
墨と水だけで濃淡、明暗を表す水墨画に魅せられて始めました。何年も習っていても学ぶことが多いです。
- ⑨「万葉の歌 二首」(書)／蒼風会 島田昌広
潤濁や文字の大小によって立体感を出し、三つの鳥を一つの景色として表現できればと思い、制作しました。

会員作品紹介



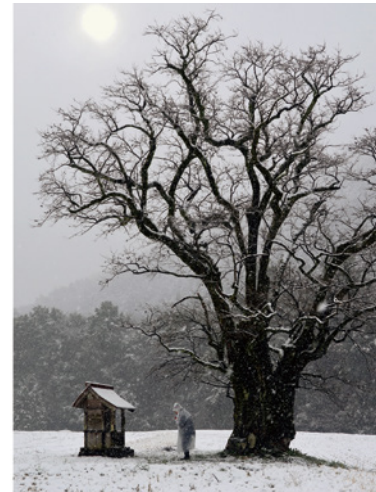
⑩



⑬



⑪



⑭



⑯



⑫



⑮



⑰

題名／作者／ひとこと

- ⑩「野ぶどう」(日本画)／尾道日本画協会 森重時江
野ぶどうを始めて見た時、こんなに小さくてカラフルで綺麗な実があるんだと感動して描きました。
- ⑪「無題」(水彩画)／御調洋画教室 鳥山浩
尾道渡船の乗船場の兼吉から尾道水道を見て描きました。自分ながら、上手に描けたと思います。
- ⑫「祖谷の渓谷」(油彩画)／尾道美術協会 碓木學
高校同窓会4人の四国旅で訪ねた祖谷の渓谷を絵にしました。渓谷に掛かるかざら橋と紅葉がとても綺麗でした。
- ⑬「音声菩薩」(立体作品)／因島吉田彫刻・陶芸 藤井弘道
音声菩薩は天平時代(8世紀)の作品です。21世紀は生きる自分が模刻しようと思いました。難しかったです。

- ⑭「祈り」(写真)／
全日本写真連盟尾道支部尾道写真クラブ 浜本正勝
降りしきる雪の中祠に何か一心に祈っている女の人の姿に感銘しました。何カットの中の一つです。
- ⑮「人形」(油彩画)／因島美術 出本良広
1980年-44年前の因島市時代、市長賞だった作品です。今年私は尾道市でも市長賞を取りました。
- ⑯「RAIL WORK X I I I」(立体作品)／岡孝博
2015年からRAILの直進性や永遠性を感じながらRAILを素材として制作している。
- ⑰「愁宴」(水彩画)／尾道美術協会 河原厚子
真夏の花と云えばひまわりです。元気もらいます。季節が変わると花は長く輝いていますが、葉の茶色に変わるのが魅力です。

令和6(2024)年度 会員行事

月	日	事業名	会場等	主催
4	5～8	2024年 春の風に乗せて 尾道各流いけばな展	まちなか文化交流館(Bank)	尾道各流華道協会
4	12～14	写真展	まちなか文化交流館(Bank)	尾道写真研究所
7	7	茶の湯～西国街道をゆく～ 旧三井住友銀行尾道支店 七夕茶会	まちなか文化交流館(Bank)	NPO法人 茶の湯歳時記同好会
7	14	尾道市吹奏楽団第30回演奏会	しまなみ交流館(テアトロシェルネ)	尾道市吹奏楽団
8	16～18	墨游会・蒼風会合同展	しまなみ交流館(テアトロシェルネ)	墨游会・蒼風会
10	6～13	尾道写真クラブ展2024	尾道市民センターむかいしまロビー	全日本写真連盟尾道支部 尾道写真クラブ
	10～15	創立90周年 2024尾道美術協会大作展 (創立75周年付設絵画研究所大作展)	まちなか文化交流館(Bank)	尾道美術協会
11	28～29 3～5	しまなみ音楽休暇村 Vol.5	八天堂ビレッジ カフェリエ 万田発酵(株) HAKKO パーク 三和ドッグ(株)本社ビル展望カフェ 遊亀山浄泉寺 ベル・カントホール	一般社団法人 コジマ・ムジカ・コレギア
3	30			
11	10	箏・三絃・尺八による和の調べin尾道	尾道市民センターむかいしま文化ホール	尾道三曲会
	30～1	秋から冬への花めぐり いけばな池坊展	まちなか文化交流館(Bank)	池坊尾道支部
12	1	第75回記念 尾道吟剣詩舞道大会	尾道国際ホテル	尾道吟剣詩舞道連盟
1	19	尾道市民合唱団 第42回定期演奏会	しまなみ交流館(テアトロシェルネ)	尾道市民合唱団
2	1～2	池坊尾道山陽支部 春のいけばな池坊展 テーマ『新たな旅立ち』	しまなみ交流館(テアトロシェルネ)	池坊尾道山陽支部
3	9	まどか&カーノ ジョイントコンサート	しまなみ交流館(テアトロシェルネ)	尾道女声合唱団まどか アンサンブルカーノ
	20～23	韜交会展	まちなか文化交流館(Bank)	韜交會

※行事は文化協会に後援申請されたもの

文化協会のホームページをご利用いただけます。

文化協会のホームページをご利用いただけます。

尾道市のホームページ内にある、尾道市文化協会のページでは、1年間の行事のお知らせ等をご紹介します。また、会報誌のバックナンバーや、尾道市文化協会の諸様式(後援申請書など)も掲載しています。

文化協会ホームページ



🔍 検索：尾道市文化協会

編集後記

会報を通じて、文化協会に所属する方々の取り組みに触れていただきたいと思います、記事を作成しています。

ご意見・ご感想、取り上げてほしい事柄など、ぜひ事務局までお寄せください。

尾道市文化協会会報「海からの風 山からの風」第33号

発行/令和7(2025)年3月28日

発行所/尾道市文化協会 尾道市久保一丁目15-1

尾道市企画財政部文化振興課内

TEL(0848)20-7514 FAX(0848)37-2377

E-mail: bunka@city.onomichi.hiroshima.jp